

平成 30 年度 第1回高齢者支援部会

議事録

日 時: 平成 30 年 8 月 27 日(月)

19 時 45 分～20 時 15 分

場 所: 帯広市役所 10 階 第 3 会議室

(会議次第)

- 1 開 会
- 2 部会長選出及び副部会長指名
- 3 その他
- 4 閉 会

(委員・専門委員)

- 出席(6名)
大江委員、石川委員、野水委員、渡辺専門委員、池田専門委員、広瀬専門委員

(事務局)

- 保健福祉部 橋向地域包括ケア担当部長
- 介護保険課
内藤課長、藤原補佐
- 高齢者福祉課
松本課長、廣瀬課長補佐、永田課長補佐、家内課長補佐、長瀬主任

(議事録)

- 事務局
本日は、健康生活支援審議会に引き続き、今年度の第 1 回目となります高齢者支援部会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
それでは、ただいまから、帯広市健康生活支援審議会 第 1 回高齢者支援部会を開会いたします。
議事に入ります前に、このたび新しく委員に就任いただいた方もいらっしゃいますので、はじめに皆さまから、自己紹介をお願いしたいと存じます。

(各委員・専門委員の自己紹介)

- 事務局
皆さま、ありがとうございました。
続きまして、本部会の事務局を担当いたします職員を紹介させていただきます。

(職員紹介)

- 事務局

さて、本日は、委員及び専門委員 9 名中 6 名のご出席により、過半数のご出席をいただいておりますので、本部会は、帯広市健康生活支援審議会条例施行規則第 4 条第 1 項の規定により、成立しておりますことをご報告させていただきます。

次に、次第の 2. 部会長の選出及び副部会長指名でございますが、本日が初めての部会となりますので、部会長選出まで、事務局で進行させていただきます。

- 事務局

それでは、私が進めさせていただきます。

部会長の選出は、帯広市健康生活支援審議会条例施行規則第 3 条第 4 項の規定により、委員の中から皆様の選挙により定めるものとされております。

早速ではございますが、部会長の選出について、どのような方法にいたしましょうか、お諮りいたします。

- 委員及び専門委員

指名推薦の提案をいたします。

- 事務局

ただ今、指名推薦のご提案がございましたが、部会長の選出は、指名推薦によるものとしてよろしいでしょうか。

(各委員及び専門委員 異議なし)

- 事務局

それでは、どなたか指名推薦をお願いいたします。

- 委員及び専門委員

部会長に、大江委員を推薦いたします。

- 事務局

ただ今、部会長に大江委員の推薦がございました。
他にご推薦はございませんか。

(各委員及び専門委員 推薦なし)

- 事務局

大江委員の部会長推薦がありましたので、大江委員を部会長とさせていただくことにご異議ありませんか。

(各委員及び専門委員 異議なし)

- 事務局

それでは、部会長は大江委員に決定いたしました。
部会長には、正面の席にお着きいただき、ご挨拶いただいたあと、今後の議事の進行をお願いいたします。

(大江部会長ご挨拶)

- 部会長

それでは、次に副部会長の指名です。副部会長は、審議会条例施行規則第3条第6項の規定により、部会長が指名ということですので、私から指名させていただきます。

副部会長には、石川委員にお願いしたいと思います。石川委員よろしいでしょうか。

(各委員専門委員 異議なし 石川委員承諾)

- 部会長

では、次第の3. その他について事務局から何かありますか。

- 事務局

平成29年11月28日に開催されました「平成29年度 第1回高齢者支援部会」で委員より質問をいただきました件につきまして報告があります。

- 事務局

それでは私の方から報告をいたします。

資料はお手元にあります資料1をご覧ください。

平成29年11月28日に開催されました、平成29年度 第1回高齢者支援部会の中で委員より、介護ロボット導入促進事業の件につきまして、「導入8施設の評価の把握はされているのか？」という質問をいただきました。

事務局の回答では、「今回、導入した事業所については、導入の評価を各事業所から提出して頂くこととしておまして、導入状況を把握、評価していきたいと思っています。」と回答いたしました。

この件につきまして、事業所から効果や課題について提出がありましたので報告をさせていただきます。

はじめに、介護ロボットの導入促進事業の概要につきまして簡単に説明をいたします。

資料1の「1 事業目的」と「2 補助額及び補助率」をご覧ください。

この事業は、介護従事者の負担軽減を図るために有効な機器である介護ロボットの導入を促進し、働きやすい職場環境を整えることで、介護従事者の確保を図ることを目的として、平成28年度に1事業所あたり92万7千円を上限として8事業所が国からの補助を受けて設置いたしました。

「3 補助対象要件」につきましては、後ほどご一読いただければと思います。

次に、「4 状況報告」をご覧ください。

こちらの表では、左から設置した事業所名、介護ロボットの種別、平成28年度の導入時報告、平成29年度の報告を記載しております。

介護ロボット導入の種別につきましては、移乗介護用ロボットスーツは3事業所が導入、見守りセンサー付き電動ベッドは5事業所が導入となっております。

参考資料といたしまして、資料1の次のページをご覧ください。左側の画像は特別養護老人ホーム太陽園様より資料の提供をいただきました移乗介護用ロボットスーツ、いわゆるマッスルスーツを言われるもので、こちらを装着することにより、介護職員の腰痛の軽減・予防や介護業務への負担軽減を図ります。

右側が見守りセンサー付き電動ベッドのパンフレットの抜粋でありまして、ベッドに内蔵された4つのセンサーにより、ベッド上の利用者の動きを、この図の中央の部分に記載しております、動き出しモード・起き上がりモード・端座位モード・離床モードから選択し、見守りが必要な利用者の状態に合わせて、自動で感知しナースコールに通知するシステムです。

国の要綱では、導入する介護事業所は原則として3年間、市町村へ使用状況について報告するもの、また、市町村は当該都道府県を管轄する地方厚生局長へ提出するものと記載されております。

次に、前のページに戻りまして、表の平成28年度導入時報告をご覧ください。こちらでは、平成28年度導入時点においての効果と課題を、記載しております。

まず、移乗介護用ロボットスーツを購入した3事業所から報告いたします。

導入による効果について、主に3点を報告いたします。

- 1点目が、移乗介助時に、特に体格の大きい方への介護従事者の負荷が軽減された。
- 2点目が、おむつ替え、衣類の着脱介護時に、同じ姿勢を長く保つ際にこれまでより楽に感じられる。
- 3点目が、移乗介助時にかかる時間がユニットあたり20分が15分程度まで短縮された。

次に、導入による課題として、主に2点記載しております。

- 1点目が、体の小さな女性は重たく感じる。
- 2点目が、比較的大型のため、装着に手間取ったこともある。

次に、見守りセンサー付き電動ベッドの導入による効果と課題について報告いたします。

資料のとおり、5事業所から提出がありました導入による効果について主に2点記載しております。

1点目が、入居者の常時見守りが不要となり、特定の利用者への定時見守り介護時間の短縮が図られた。

2点目が、利用者の自立度に応じて活動許容範囲を決め、それを越えた場合に自動的に通報されることから、事故等の未然防止に寄与している。

次に、導入による課題として、主に2点記載しております。

- 1点目が、利用者の体重に合わせて初期設定が必要になる為、自動初期設定の機能がほしい。
- 2点目が、誰が読んでもわかりやすいマニュアルを作成してほしい。

平成29年度の報告につきましては、ご覧のとおりです。

これらの意見に基づき、状況報告書の提出につきましては、平成28年度の導入時は、平成29年3月17日に道を経由して北海道厚生局に提出、平成29年度の報告につきましては、平成30年6月15日に道を経由して北海道厚生局に提出しております。

以上です。

- 部会長
 ただいま事務局より、報告事項の説明がありましたが、何かご意見・ご質問等があればお受けいたします。
- 委員及び専門委員
 介護ロボットというイメージからすると、自分の病院にも設置しているセンサー付きベッドも赤外線を防げるとセンサーが反応するというもの。介護ロボットというと人を助けるというイメージがある。
- 委員及び専門委員
 誰が読んでもわかりやすいマニュアルを作成してほしいと書いているが、現場では結構大変なのでしょうね。
- 事務局
 センサー機能を一通り機能させるために懇切丁寧に説明すると、どうしても分厚くなってしまいます。簡易なマニュアルと詳細なマニュアルを合わせたものがあれば良いですが、現場で苦勞されている部分もあります。
 先ほど、担当からも説明がありましたが、道を通して国に提出しております。こういう機械を作っているメーカーに対して声が吸い上げられ、改善の方向に向かっていくものと思います。
- 委員及び専門委員
 1機器あたり 20 万円以上のものに限っていますが、価格はどの位なのですか。
- 事務局
 平成 28 年度に導入したマッスルスーツの1台あたりが 463,500 円となっております。
- 委員及び専門委員
 多く入れようとすると、事業所にとっては自己負担がかかってくるのですね。
- 事務局
 1 事業所あたり、927,000 円が上限額となっております。
- 委員及び専門委員
 予算の範囲内というものもありますが、事業所では、あとどのくらい必要なのでしょうかね。
- 事務局
 国の要綱では、介護ロボットの導入の補助については削除されています。
 道の要綱では、上限額 30 万円で補助を行っております。
- 委員及び専門委員
 マッスルスーツは自分の施設でも購入したが、装着に時間がかかる。今、助けてほしいという人に適時支援するのは難しい。
- 委員及び専門委員
 夜勤帯でベッドのセンサーがあちこちで反応して、ナースコールが鳴ったら誰が危険で誰がどうだかわからない。明らかに転落した時に、赤外線を大きく外すとカメラが反応するようになっている。カメラで録画でき

る。どうして転んだか原因究明にもなる。これで拘束がなくなるというのが、一番の目標である。今から5年ほど前に機械を導入したので夜間帯は自分の医療施設は拘束はしていません。

- 委員及び専門委員

介護施設では、身体拘束はしないと長い間行っています。

- 委員及び専門委員

イメージ的にロボットと付くと、人間の方が細やかに色々な面で心が行き渡ると思うが、今の時代なので、感知したり色々な良いこともあるが、中々馴染めないような。もし自分の親が入院したり、預けた時にそこにロボットがいたら何となく想像が出来ない。しかし、人が足りないとか、今の社会情勢ではこれから色々な意味で必要になってくる。しかし、中々、良いですねとは言えない。

- 委員及び専門委員

受ける側に立ってみると、ネーミングの問題があるのかもしれない。ロボットが出てきて何かをやるようなイメージになってしまう。

- 委員及び専門委員

介護職員の離職の一番の原因が腰痛である。それで、腰痛を予防するためにこういう補助があったらのがあったらいいですねということで、このような移乗介護用ロボットスーツが開発されたが、先ほども言ったように装着に時間がかかるので、高い値段を払って腰痛予防とはならないのではないかな。

受ける側のイメージとしては、全ての動作をロボットがするというイメージだが、本当は腰痛予防が一番大事なところですよ。

- 部会長

本日の議事は以上ですが、その他、事務局から何かございますか。

委員・専門委員の皆様から何かございますか。

それでは、事務局からお願いいたします。

- 事務局

次回の高齢者支援部会につきましては、11月を予定しておりますが、日程については、部会長と相談をいたしまして、ご案内したいと思います。

- 部会長

それでは、以上で予定されていた議事はすべて終了致しました。

本日の高齢者支援部会はこれにて閉会と致します。皆様、大変お疲れさまでございました。